

第2期ふるさと秋田元気創造プラン 戦略5 未来を担う教育・人づくり戦略
「施策5－4 良好で魅力ある学びの場づくり」の取組状況について

◆ 主な数値目標：

- 授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合 ※国語と算数・数学の平均値 H27目標 小6 88.0%、中3 81.0% → 実績 87.6%、79.9%
- 中学校区における学校支援地域本部や放課後子ども教室等の実施率 H27目標 92.3% → 実績 93.8%

<平成27年度の取組状況>

- ・小・中連携実践研究モデル校を核とした中1ギャップ^{注1}解消等をねらいとした合同実践と合同研修の実施
- ・優れた教科指導力を有する教諭を教科指導CT（中核教員）に指定し、優れた指導技術の波及を図るため教科指導CTの授業を基にした研修会を実施
- ・安全教育担当職員の資質向上を図る研修会の実施
- ・安全教育に関する外部講師の学校等への派遣や安全体制の確立に向けた学校訪問指導の実施
- ・地域と連携して取り組む安全教育活動に対する支援
- ・放課後子ども教室等に参加する特別な支援を要する児童に対応するための研修の実施
- ・インターネットセーフティ^{注2}を推進する地域サポーターの活用とネットワークづくり
- ・能代松陽高校体育館棟、秋田中央高校体育館棟、秋田工業高校実習棟、角館高校定時制校舎（改修）、大館地区統合高校校舎棟及び体育館棟、大曲農業高校校舎棟、秋田地区中高一貫教育校体育館棟、大曲養護学校せんぼく分校校舎棟の整備
- ・私立学校を設置する法人への運営費、私立高校生に対する高等学校等就学支援金等の助成
- ・中高学習指導研究協議会の開催による個別課題に対応した多様な研修の実施（能代松陽高校、能代東中学校、秋田西高校、天王南中学校、角館高校、角館中学校で開催・写真）
- ・第七次秋田県高等学校総合整備計画の策定、中高一貫教育校としての秋田南高校中等部及び大館地区3校を統合する大館桂桜高校の開設準備、能代地区統合校の整備方針の検討

<平成27年度「提言」に対する平成28年度の取組状況>

- ・コーディネーターを中心として学校・家庭・地域が連携・協力して行う市町村の各種教育支援活動への助成
- ・全県立学校において整備されているインターネット環境における機器の更新・整備及びネットワーク環境の維持
- ・インターネットの健全利用を支える仕組みづくりと保護者や教員等を対象にした教育啓発（インターネットの利用に関する指導者の認定・研修、地域サポーターの養成・ネットワークづくり、スマホ断ちキャンプ、教師用ガイドブックの作成、県庁出前講座等）の実施
- ・タイ王国交流校との授業交流・研究会等の実施
- ・県内企業に就職する学生に対する奨学金返還額の一部助成制度の創設
- ・優れた教科指導力を有する教諭を教科指導CT（中核教員）に指定
- ・ベテラン教員が有する優れた指導技術を継承するための教科指導CTの授業を基にした研修会の実施

<今後の主な重点施策>

- ・昨年度まで実施した小・中連携実践研究モデル校の実践の成果と課題を踏まえた学校訪問等による小・中連携の推進に向けた指導助言
- ・学校安全推進委員会の開催による学校安全推進事業の効果的な展開
- ・安全教育の中核となる教職員等の資質向上を図る研修会の実施
- ・安全管理及び安全教育の充実に向けた学校訪問の実施
- ・地域と連携した防災訓練の実施、地域学校安全委員会開催への支援
- ・防災教育の充実のための専門知識を有する講師の派遣
- ・防災キャンプ^{注3}の実施による防災教育の観点に立った青少年の体験活動の推進
- ・学校、家庭及び地域の関係機関・団体との連携を図るなどの、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制の整備
- ・学校給食用食材の放射性物質検査体制の整備
- ・インターネットの健全利用を支える仕組みづくりと保護者や教員等を対象にした教育啓発
- ・高等学校総合整備計画による高校の学校規模の適正化と望ましい配置について、県民の理解を得ながら高校の再編整備や県立学校の改築を推進
- ・教職員が参加しやすい研修環境の整備及び大学教員を交えた中高の接続における効果的な指導法の協議

(注) 1 中1ギャップ：小学生から中学1年生になったことがきっかけとなり、学習や生活の変化になじめずに不登校となったり、いじめが増加する現象。
 2 インターネットセーフティ：社会全体で子どもたちをインターネットによる有害情報やトラブルから守り、インターネットを健全に利用できるよう、安全で安心な利用環境を整える取組。
 3 防災キャンプ：各地域において想定される災害や被災時の対応等を理解し、学校等を避難所とした生活体験等を実践するキャンプ。



中高学習指導研究協議会の様子

